



# プロの教職員になるための あなたにとっての3つの挑戦！

---

平成28年6月11日(土)

学校法人安城学園 学園長  
寺部 暁



# 「教育で勝負できる学校」を作る！

---

## ◆ 第一段階

- 「第1ステージ(教室の中)で勝負できる学校」を作る！

## ◆ 第二段階

- 「第2ステージ(学校の中)で勝負できる学校」を作る！

## ◆ 第三段階

- 「第3ステージ(地域)で勝負できる学校」を作る！

## ◆ 第四段階

- 「第4ステージ(海外)で勝負できる学校」を作る！





# 「教育で勝負できる学校」を作る！

## ◆ 第一段階

- 「第1ステージ(教室の中)で勝負できる学校」を作る！

## ◆ 第二段階

- 「第2ステージ(学校の中)で勝負できる学校」を作る！



## 今回の報告討論会のテーマ

- 「第3ステージ(地域)で勝負できる学校」を作る！

## ◆ 第四段階

- 「第4ステージ(海外)で勝負できる学校」を作る！





---

# 現在の若者を巡る雇用環境

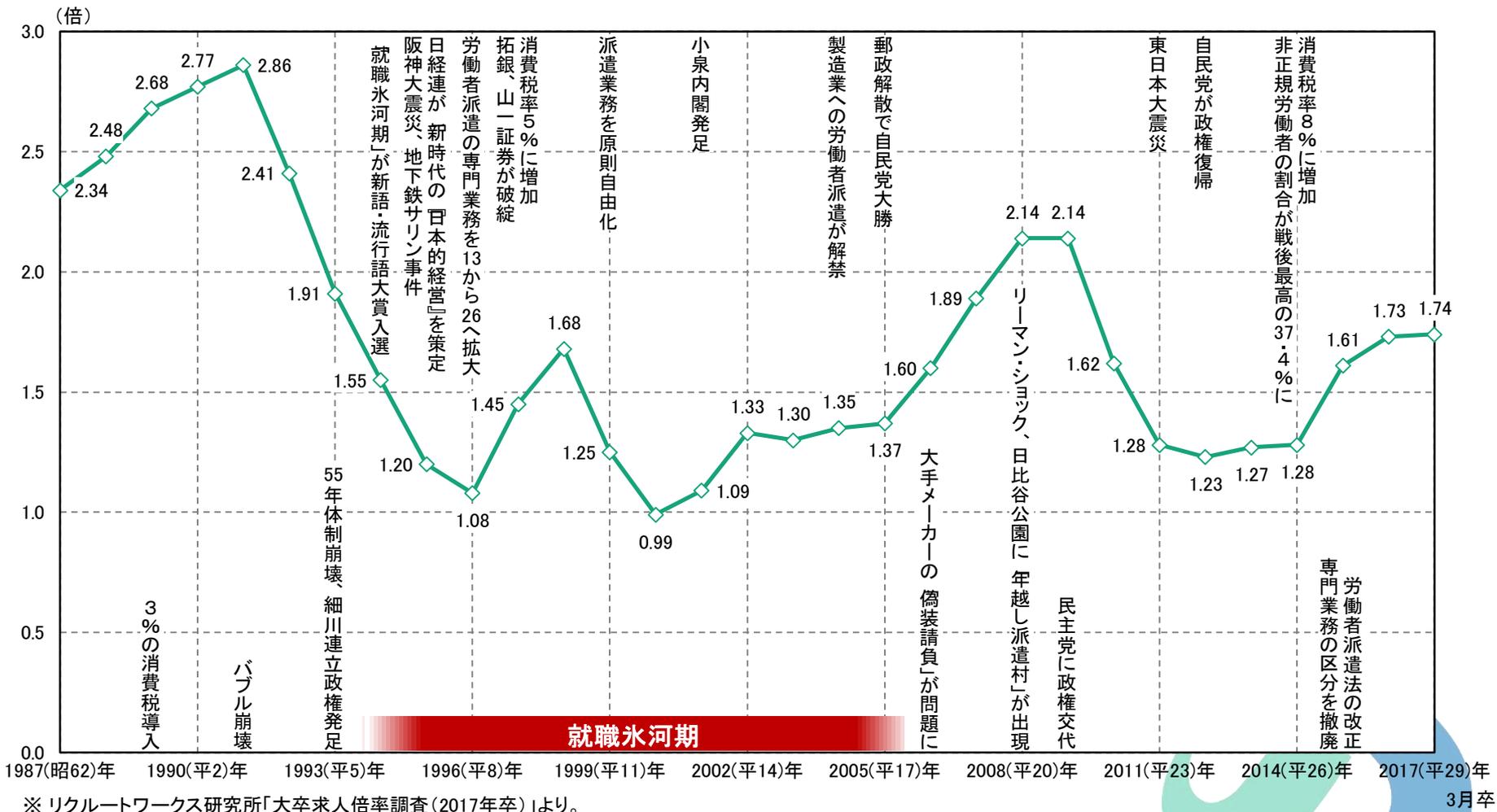




# 数字で見る大卒の求人状況

グラフ①

## 大卒求人倍率の推移





# 世界の一人当り年間所得格差

国民一人当り名目GDP (平成27年)

|         |         |           |        |
|---------|---------|-----------|--------|
| ◆ アメリカ  | 675.5万円 | ◆ インドネシア  | 40.7万円 |
| ◆ 日本    | 393.2万円 | ◆ ブータン    | 34.4万円 |
| ◆ 韓国    | 329.2万円 | ◆ ベトナム    | 25.3万円 |
| ◆ マレーシア | 115.7万円 | ◆ ミャンマー   | 15.6万円 |
| ◆ 中国    | 96.7万円  | ◆ バングラデシュ | 15.6万円 |
| ◆ タイ    | 69.5万円  | ◆ ネパール    | 9.1万円  |

<出展> IMF - World Economic Outlook Databases (平成28年4月版)

※) 平成27年におけるUSD/円の年間平均為替レート(1USD=121.044円)より、円換算で掲出

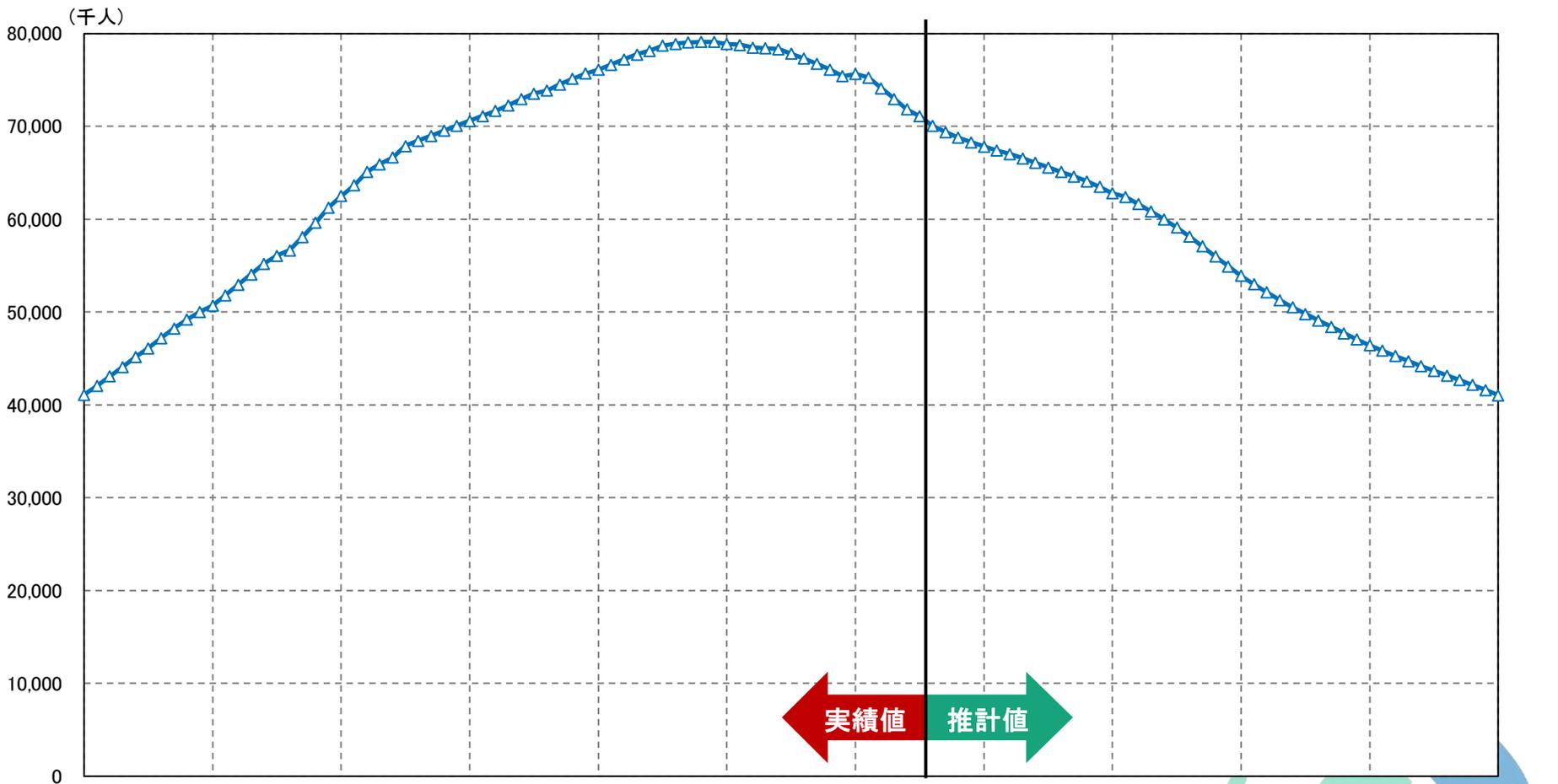




# 生産年齢人口の推移

グラフ②

## 20～64歳人口の推移



1950(昭25)年 1960(昭35)年 1970(昭45)年 1980(昭55)年 1990(平2)年 2000(平12)年 2010(平22)年 2020(平32)年 2030(平42)年 2040(平52)年 2050(平62)年 2060(平72)年  
※平成27年以前は総務省統計局「人口推計」、平成28年以降は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口(出生中位・死亡中位仮定2012年1月推計)」の推計結果を使用。

# 人工知能の普及

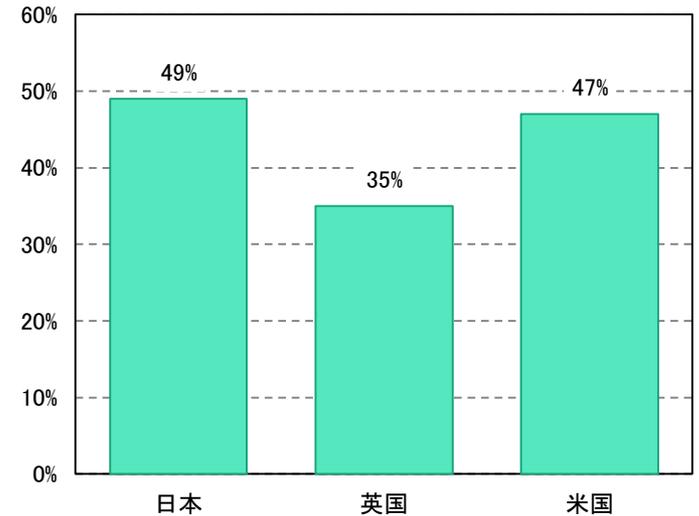
技術的に人工知能等で代替可能な労働人口率

## ◆ 代替可能な仕事の増加

- オズボーン准教授の研究
- 労働政策研究・研修機構が試算

## ◆ Googleの人工知能開発

- 囲碁対決「アルファ碁」
  - ディープラーニングの成果
- 自動車の自動運転
  - GPSとインターネットのビッグデータ活用



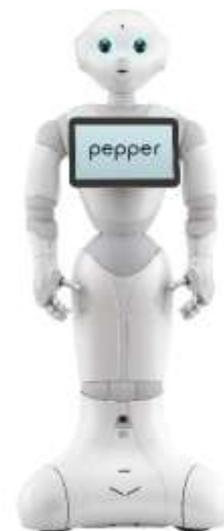
# ロボットの普及

## ◆ 産業用ロボット

- 工場の自動生産

## ◆ 人型ロボット

- ハウステンボス「変なホテル」
- ソフトバンク「ペッパー君」



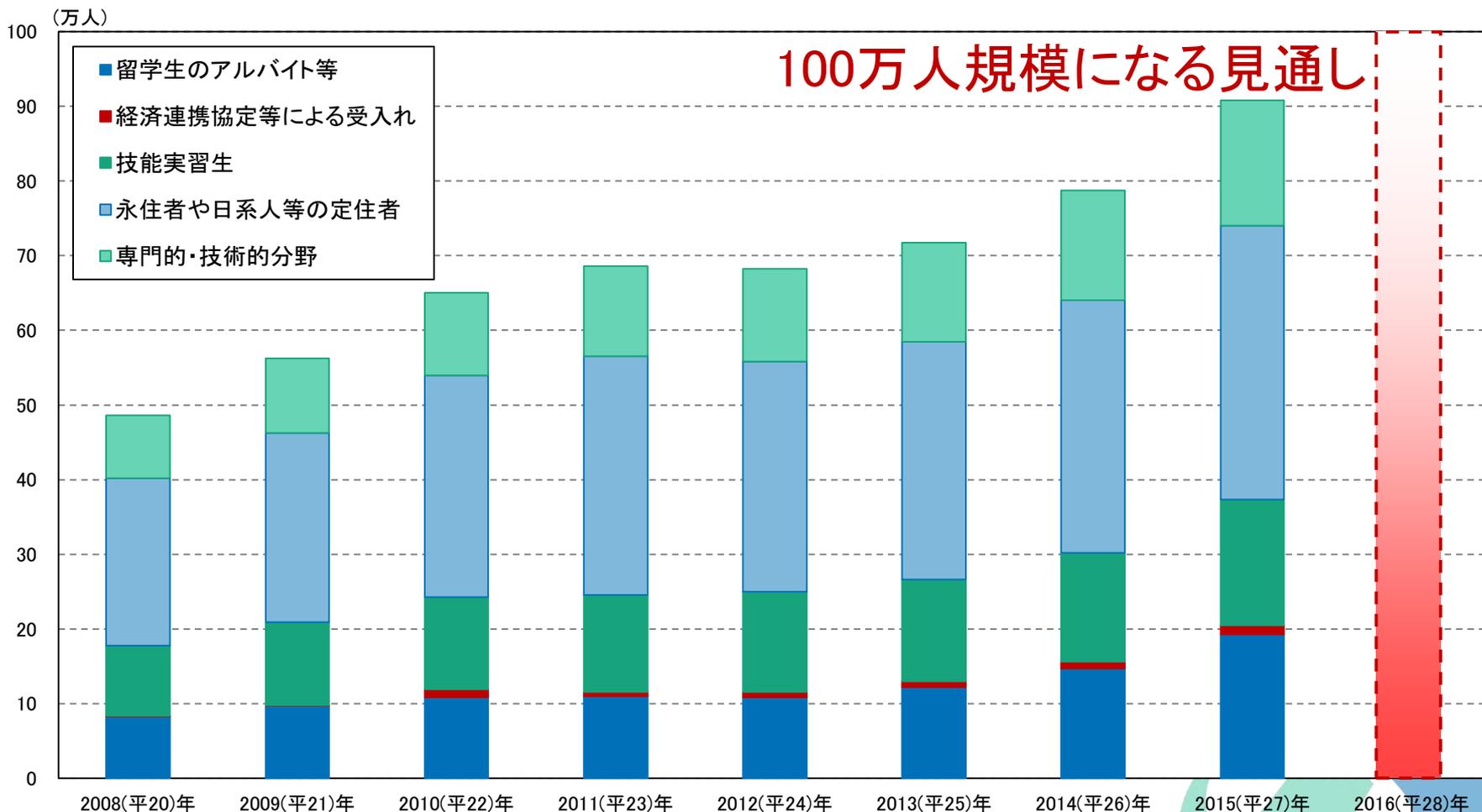
人の仕事がロボットに置き換わる



# 数字で見る外国人労働者数

グラフ③

## 外国人労働者数(雇用届出状況)の推移



※厚生労働省発表に基づく。各年10月末現在。平成28年は見通し。



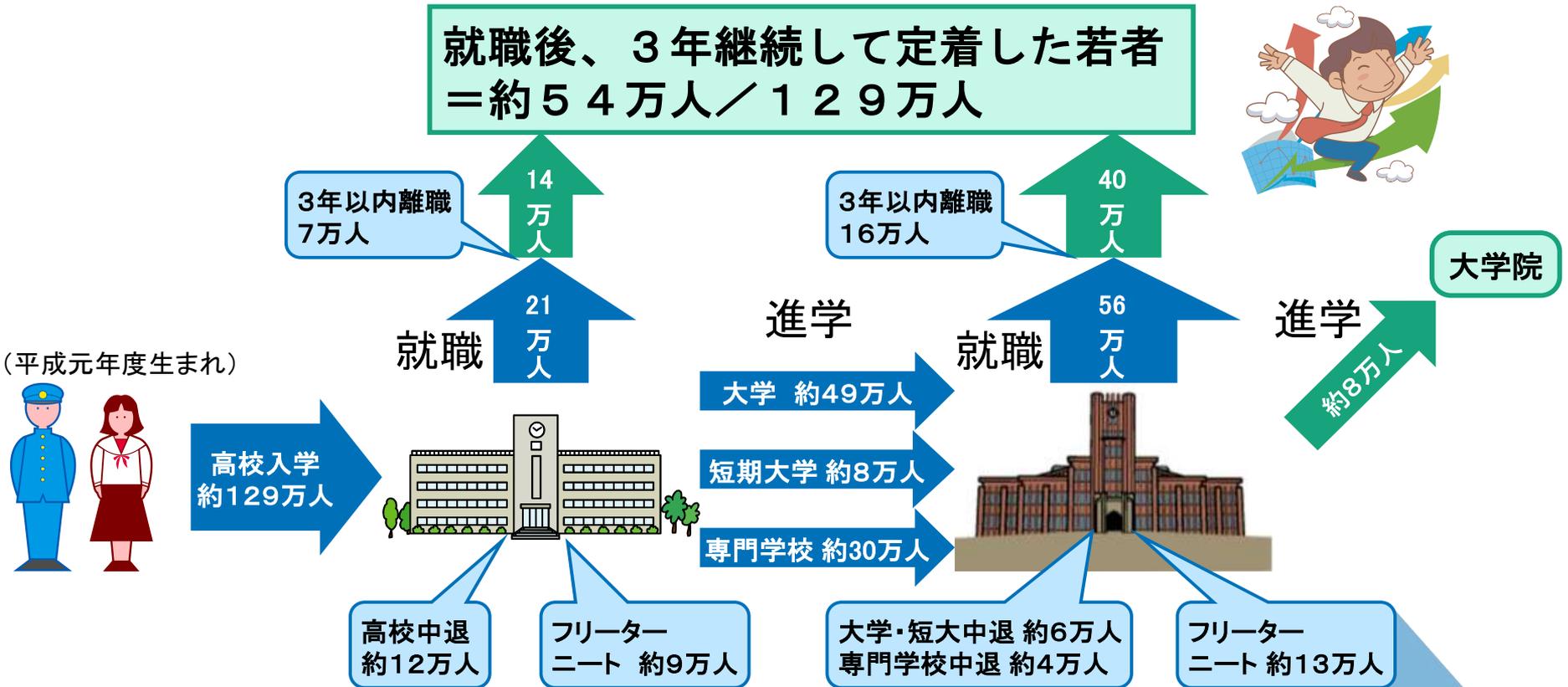
---

# 現在の若者に対する教育の結果



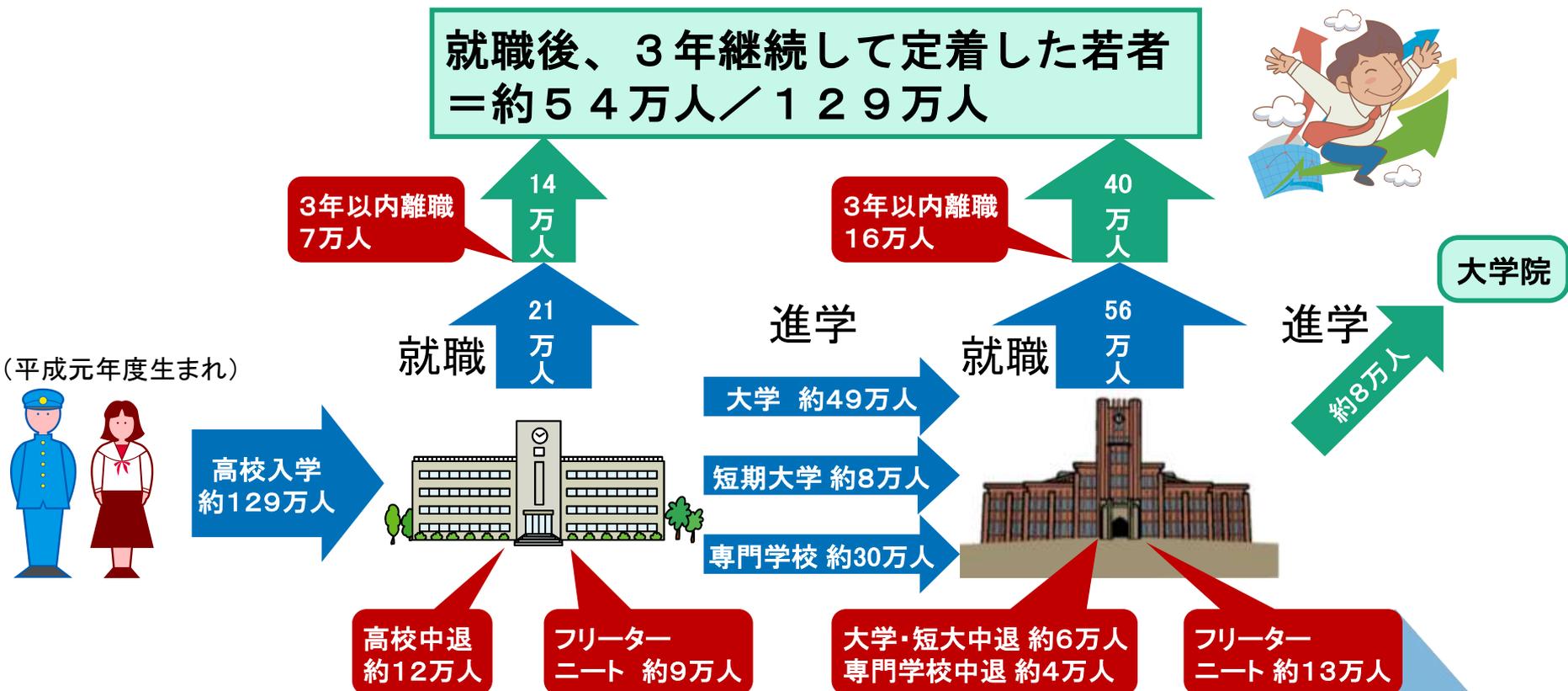


# 数字で見る若者のドロップアウト





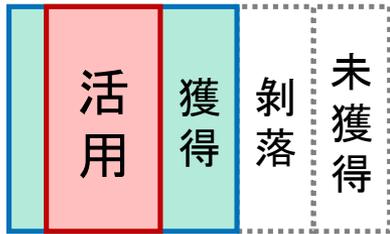
# 数字で見る若者のドロップアウト



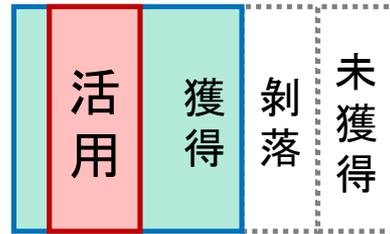
約67万人の若者が、一度は中退・離職を経験しながら、そこからはい上がらなければならない状況にある。



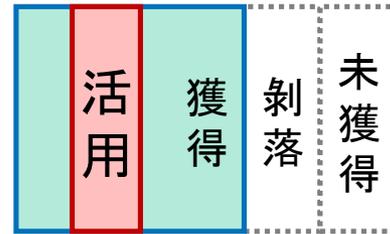
# 学校で身に付けた学力の剥落現象



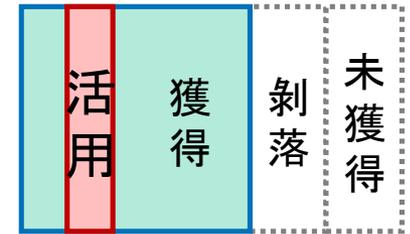
小学校



中学校



高校



大学



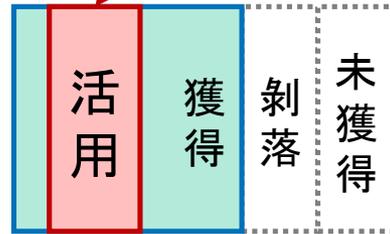


# 学校で身に付けた学力の剥落現象

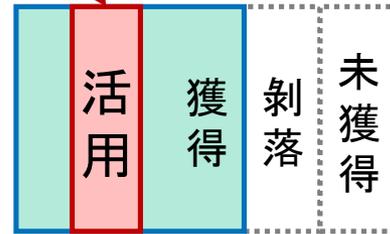
大人になった時に  
課題解決の基礎となる力



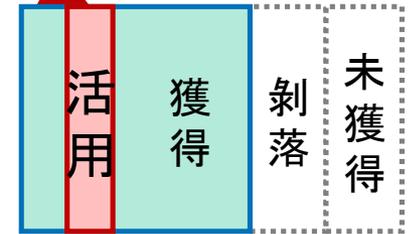
小学校



中学校



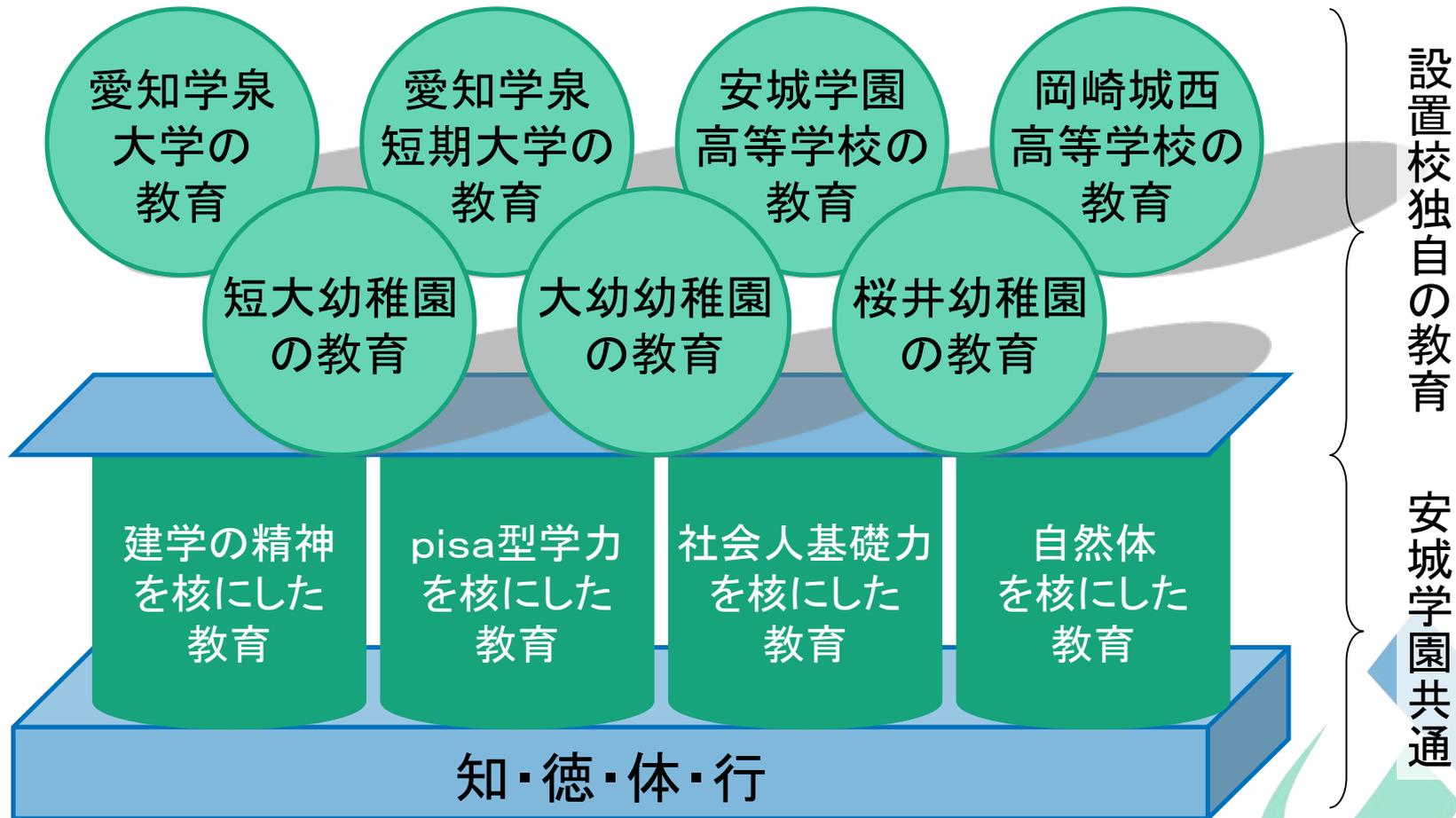
高校



大学



# 安城学園の『教育モデル』





---

# 現在の学校を巡る社会環境

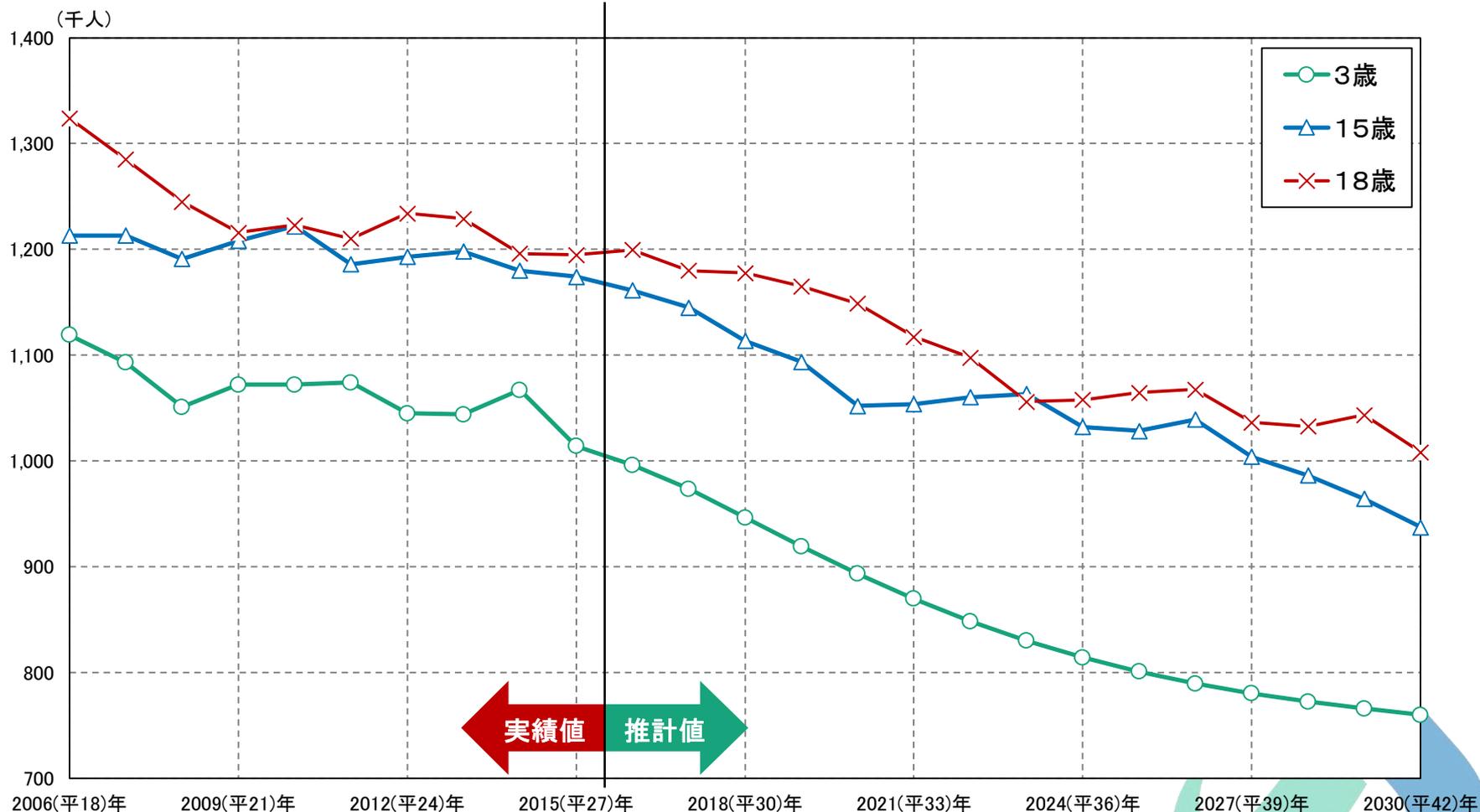




# 数字で見る子どもの数(全国)

グラフ④

## 3歳・15歳・18歳人口の推移及び今後の見込み



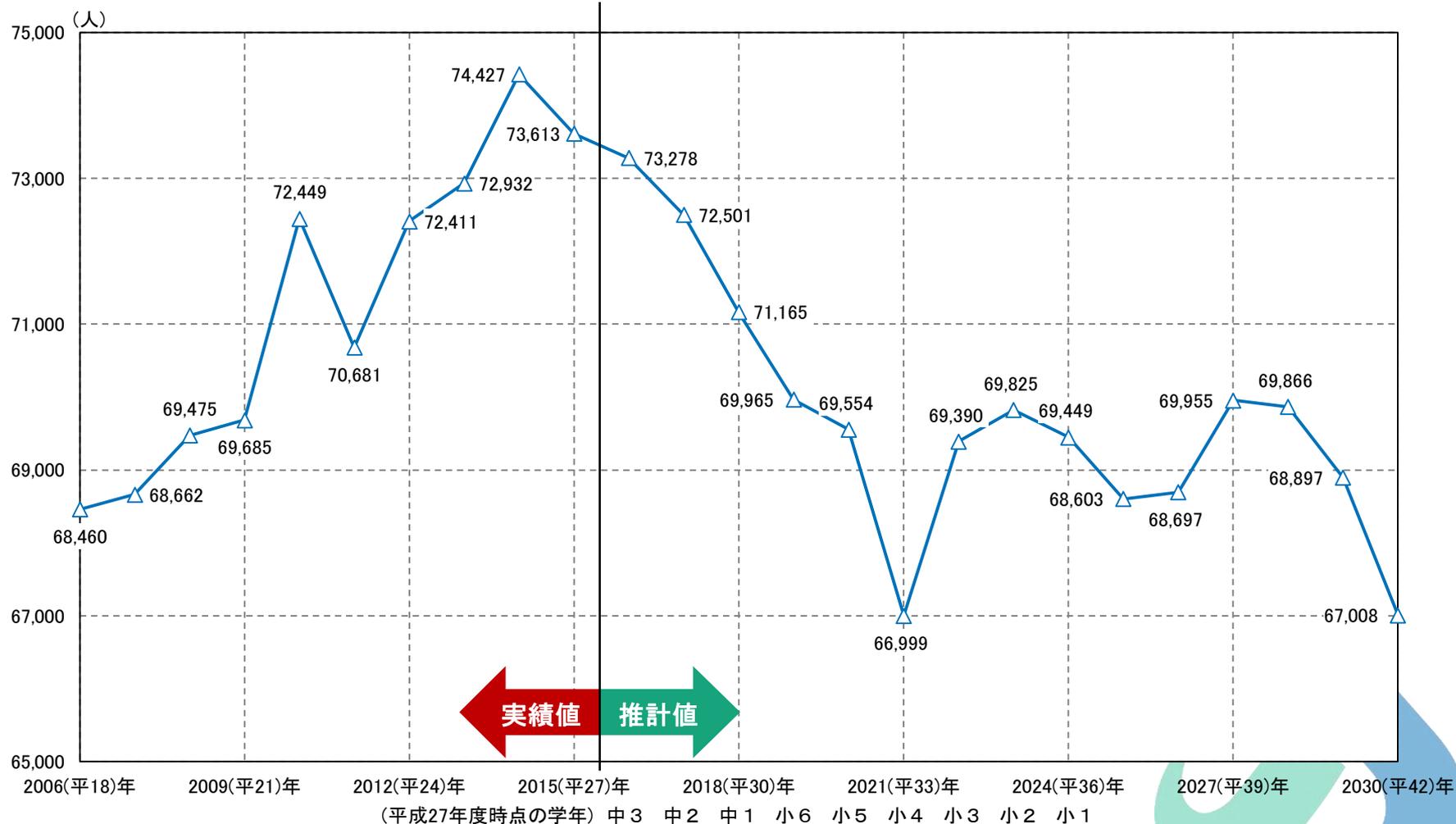
※平成27年以前は総務省統計局「人口推計」、平成28年以降は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口(出生中位・死亡中位仮定2012年1月推計)」の推計結果を使用。



# 数字で見る子どもの数(愛知県)

グラフ⑤

## 中学校卒業者の推移及び今後の見込み



※1 平成18～27年度…各年5月1日調学校基本調査による中学校3年の生徒数  
 ※2 平成28～36年度…平成27年5月1日愛知県教委調小中学校在籍児童・生徒数を基礎として学年進行を見込んだ卒業者の推計数  
 ※3 平成37～42年度…出生数を基礎として学年進行を見込んだ卒業者の推計数

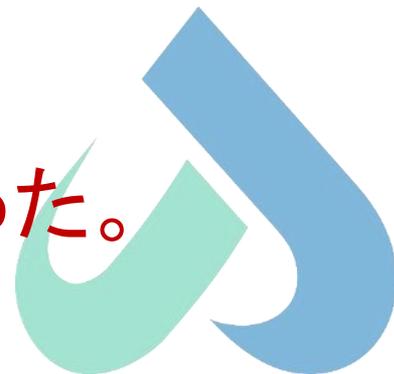


# 学校規模の適正化 & 定常化

---

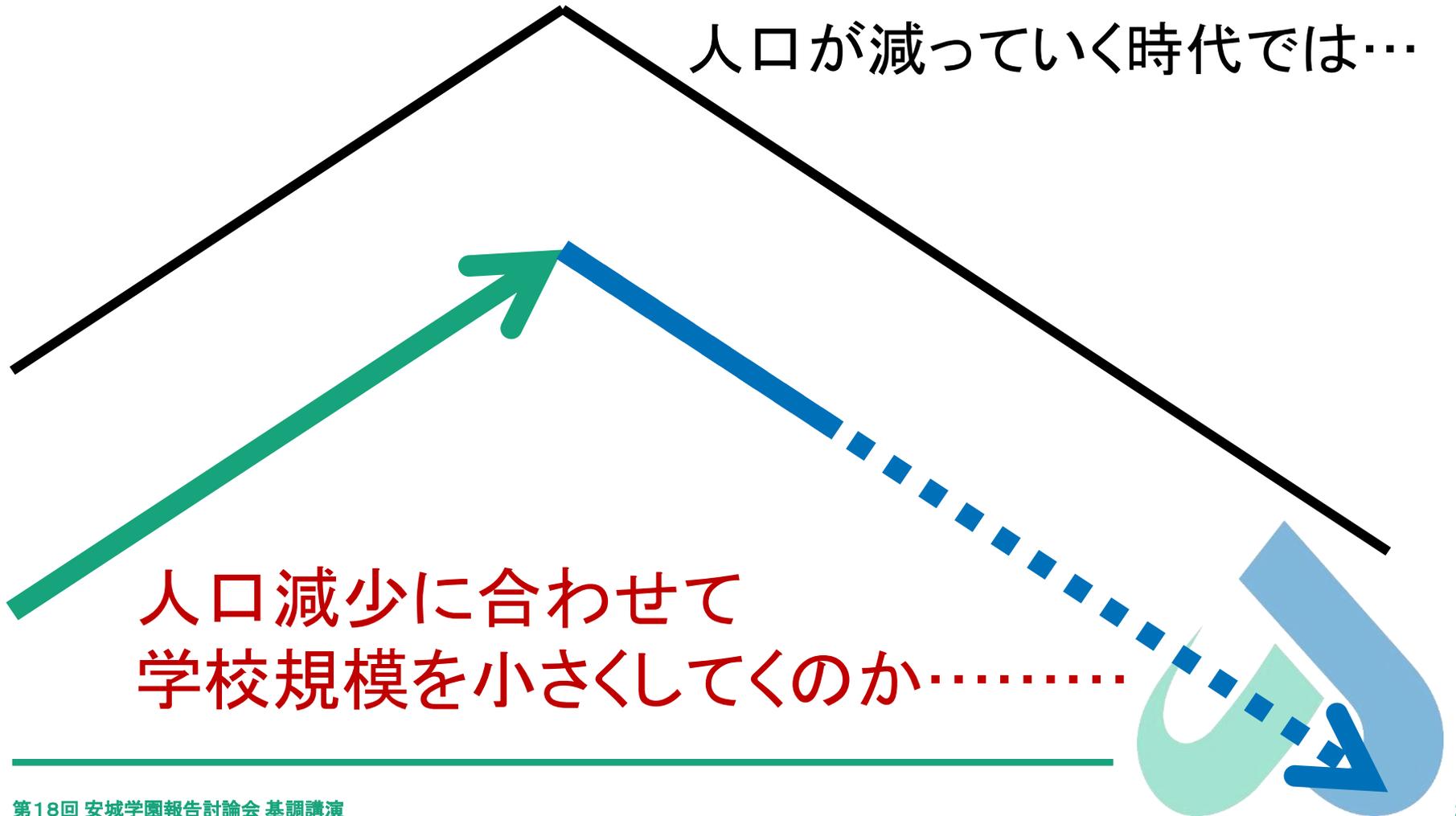
人口が増えていく時代は…

人口増加に合わせて  
学校規模を大きくしていけばよかった。



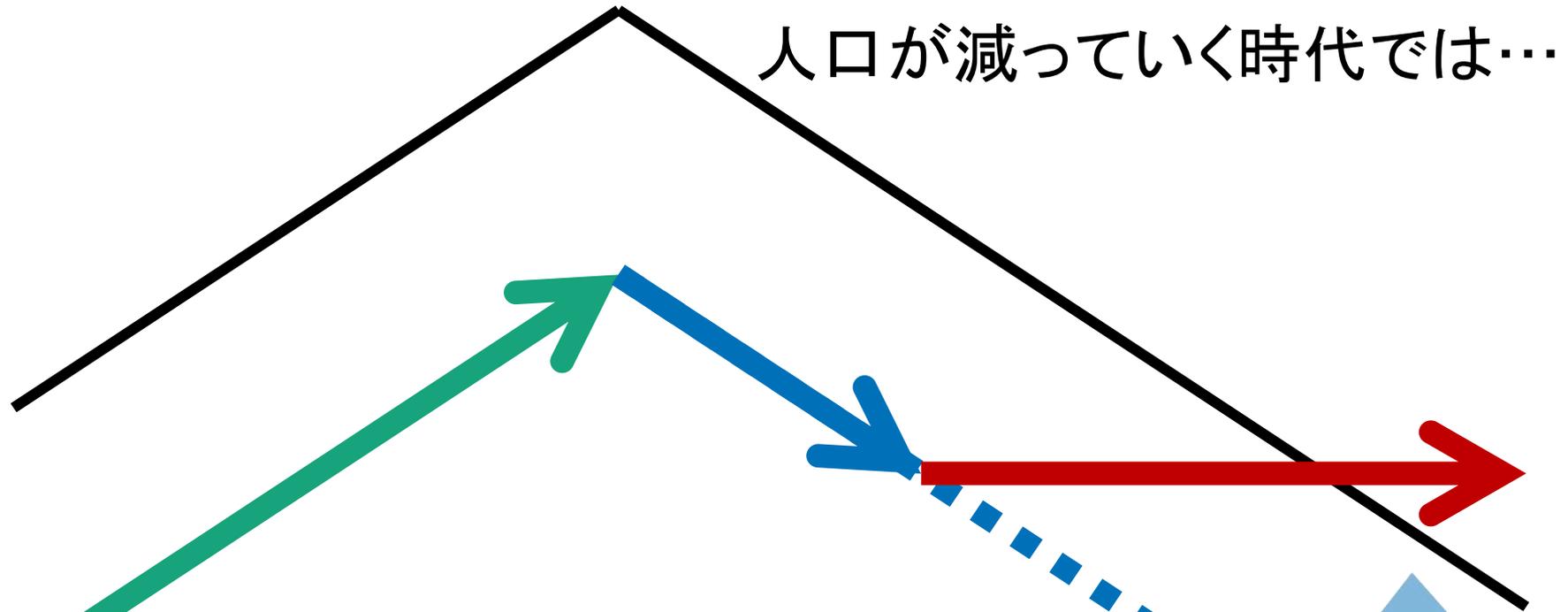


# 学校規模の適正化 & 定常化



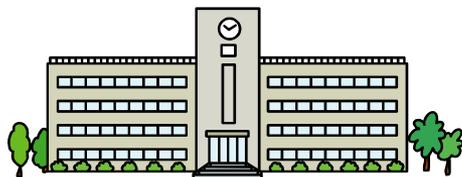


# 学校規模の適正化 & 定常化



**教育で勝負できることが必要！**

# 教育/学習のモデルの一貫性



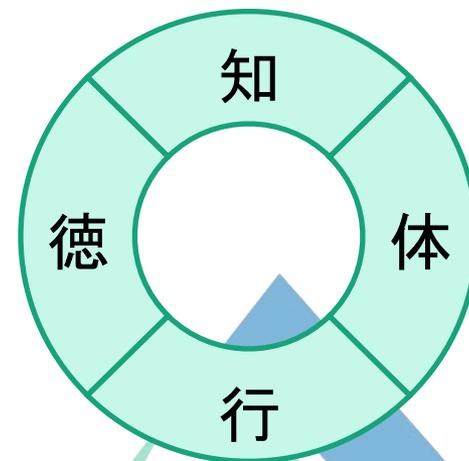
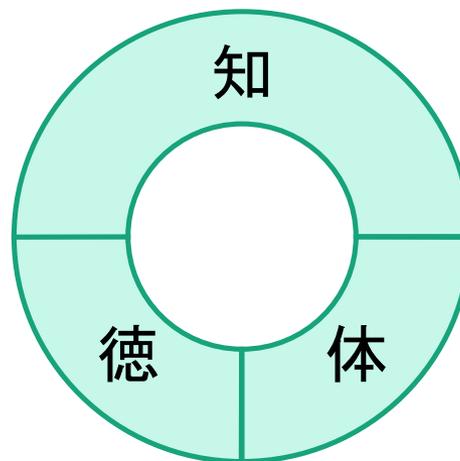
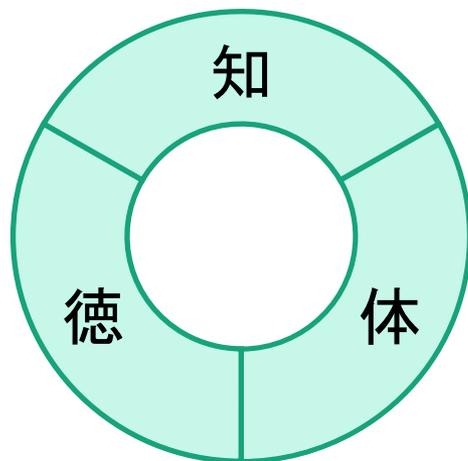
高校まで



大学・短大

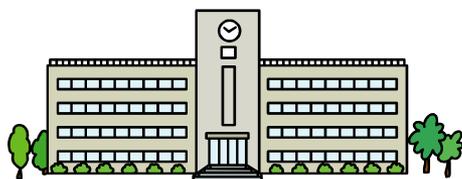


社会に出て



従来は「教育モデル」「学習モデル」に一貫性がない！

# 教育/学習のモデルの一貫性



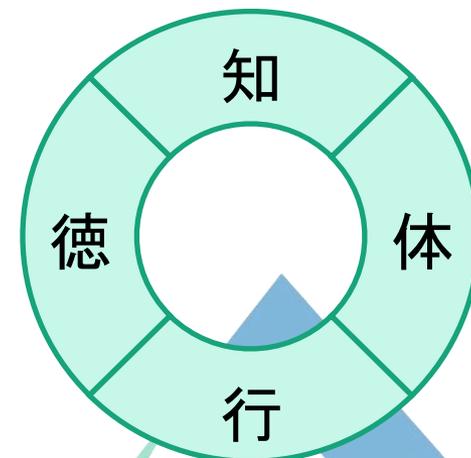
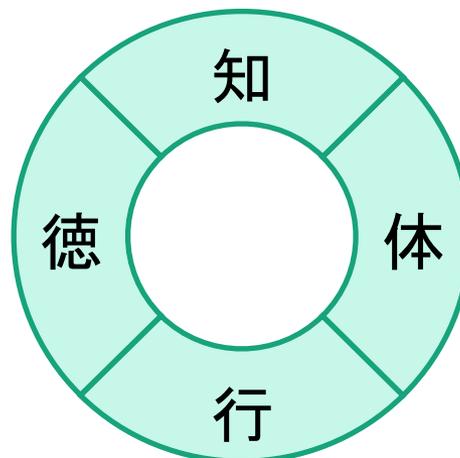
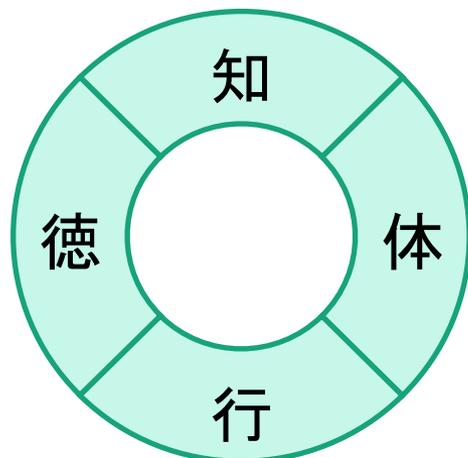
高校まで



大学・短大

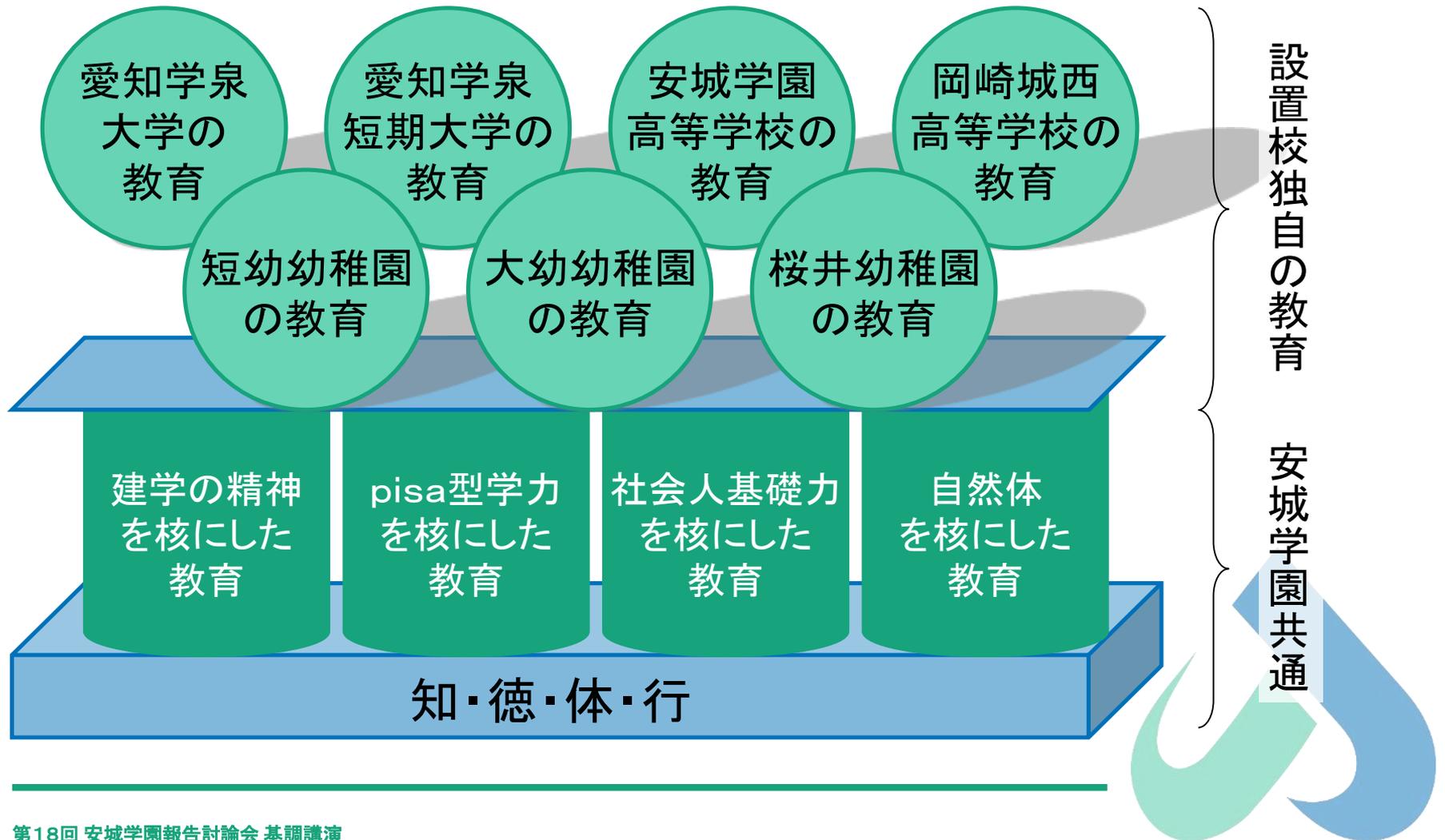


社会に出て



**「教育モデル」「学習モデル」の一貫性が重要！**

# 安城学園の『教育モデル』





---

# 「教育で勝負できる学校」を 作るための基礎・基本





# 法人の目的

---

本法人は、「**建学の理念**」と「**建学の精神**」に基づいた**社会的事業**を推進し、**社会の変化**に適応するとともに**社会に変化を興す人材**を育成することによって**地域及び社会に貢献**することを主たる目的とする。



# 庶民性と先見性



## ◆ 庶民性

- 「民が栄えてはじめて国も富む」という思想
  - 学問を庶民の間に広めていくこと、学問を修めた者がその成果を地域と社会に還元していくことが不可欠
- ⇒ 「誰でも未知の可能性である潜在能力を持っている」

## ◆ 先見性

- 来るべき社会・来るべき時代・来るべき文明を想定して、教育の理想像を描くこと
- その達成のために何が必要であるかを粘り強く追求し、その理念の実現に向けて全知全能を傾注できること

## ◆ 学園の「建学の精神」

個人として**自立**しつつありとあらゆる生命体と  
**共生**することによって、**生きる意志**と**生きる力**と  
**生きる喜び**に満ち溢れた人生を送ること





# 設置校設立時の「建学の精神」

---

- ◆ 大学、短期大学、安城学園高校、3幼稚園
  - 潜在能力の無限性を信じ、その可能性の限界まで潜在能力を引き出すこと
  - 真心、努力、奉仕、感謝の実践
  - 家庭と、社会に温い心と新しい息吹を与えることのできる人間を育成すること
- ◆ 岡崎城西高校
  - 三河武士の伝統「質実剛健」「己に克つ」の実践
  - 勇気と努力を以て困難に立ちむかう「剛毅闊達」な人間の育成



一人ひとりが持っている未知の可能性である  
潜在能力を可能性の限界まで開発すること



教育モデル「知・徳・体・行」に基づいた教育プログラムの下、「3つの挑戦」に取り組む教育システムを構築することによって教育を行う。

## ◆ 3つの挑戦

- 苦手への挑戦
- 上達への挑戦
- 未知への挑戦



4つの教育プログラムを統合した



## 自学・共学システム

- 「**知**」を鍛えるプログラム
- 「**徳**」を鍛えるプログラム
- 「**身体**」を鍛えるプログラム
- 「**行動**」を鍛えるプログラム





# 教育プログラム

---

- ◆「知」を鍛えるプログラム
  - ⇒ 「pisa型学力」を核にして開発
- ◆「徳」を鍛えるプログラム
  - ⇒ 「建学の精神」を核にして開発
- ◆「行動」を鍛えるプログラム
  - ⇒ 「社会人基礎力」を核にして開発
- ◆「身体」を鍛えるプログラム
  - ⇒ 「自然体」を核にして開発



## ◆ 3つのタイプの能力を統合した課題解決型学力



- 課題を解決するために必要な知識・情報等を  
獲得する力
- 獲得した知識・情報等を活用する力
- 獲得した知識・情報等を活用して課題を解決する力



- ◆ 複数の人々がお互いに協力・協働して共通の課題等を解決していくに当たって、一人ひとりのメンバーに要求される3つの能力を統合した課題解決型行動特性



- 前に踏み出す力
- 考え抜く力
- チームで働く力



- ◆ 日本を含む東洋において古くから重要視されてきた伝統的な身体知
- ◆ 「心・技・体」の一致、「陰・陽」のバランスなど身体の理想的なあり方
- ◆ 身心一如
- ◆ 失われつつある身体感覚を取り戻し、来るべき時代の庶民の身体文化を再構築する上で不可欠なコンセプト

- ◆ 本法人の事業を推進するに当たって、「**学校法人安城学園教職員憲章**」に従って行動する
- ◆ 本法人の教育事業を推進するに当たって、**教育基本法・学校教育法・私立学校法**をはじめとする**関係法令**に従って行動する



## ◆ こどもの潜在能力開発事業

- 大学教育事業
- 短期大学教育事業
- 高等学校教育事業
- 幼稚園教育事業

## ◆ おとなの潜在能力開発事業

## ◆ 地域の潜在能力開発事業

## ◆ 本法人の目的を実現する上で必要な上記以外の事業



---

# プロの教職員について



「課題曲」をこなした上で

「自由曲」でいい成績を収めること

- 「課題曲」の一つが教育モデル「知・徳・体・行」





# 教育モデル「知・徳・体・行」を 使いこなせるとは

---

## ◆ 例えば…

- 「**pisa型学力**」を核にした**教材**を開発・実践・評価できること
- 「**建学の精神**」を核にした**教材**を開発・実践・評価できること
- 「**社会人基礎力**」を核にした**教材**を開発・実践・評価できること
- 「**自然体**」を核にした**教材**を開発・実践・評価できること



# 教育モデル「知・徳・体・行」を 使いこなせるとは

---

## ◆ 例えば…

- 「pisa型学力」を核にして業務を遂行できること
- 「建学の精神」を核にして業務を遂行できること
- 「社会人基礎力」を核にして業務を遂行できること
- 「自然体」を核にして業務を遂行できること



# そのためには...

---

## ◆ 常に「3つの挑戦」ができること

- 苦手への挑戦
- 上達への挑戦
- 未知への挑戦

## ◆ 常に「3つの努力」ができること

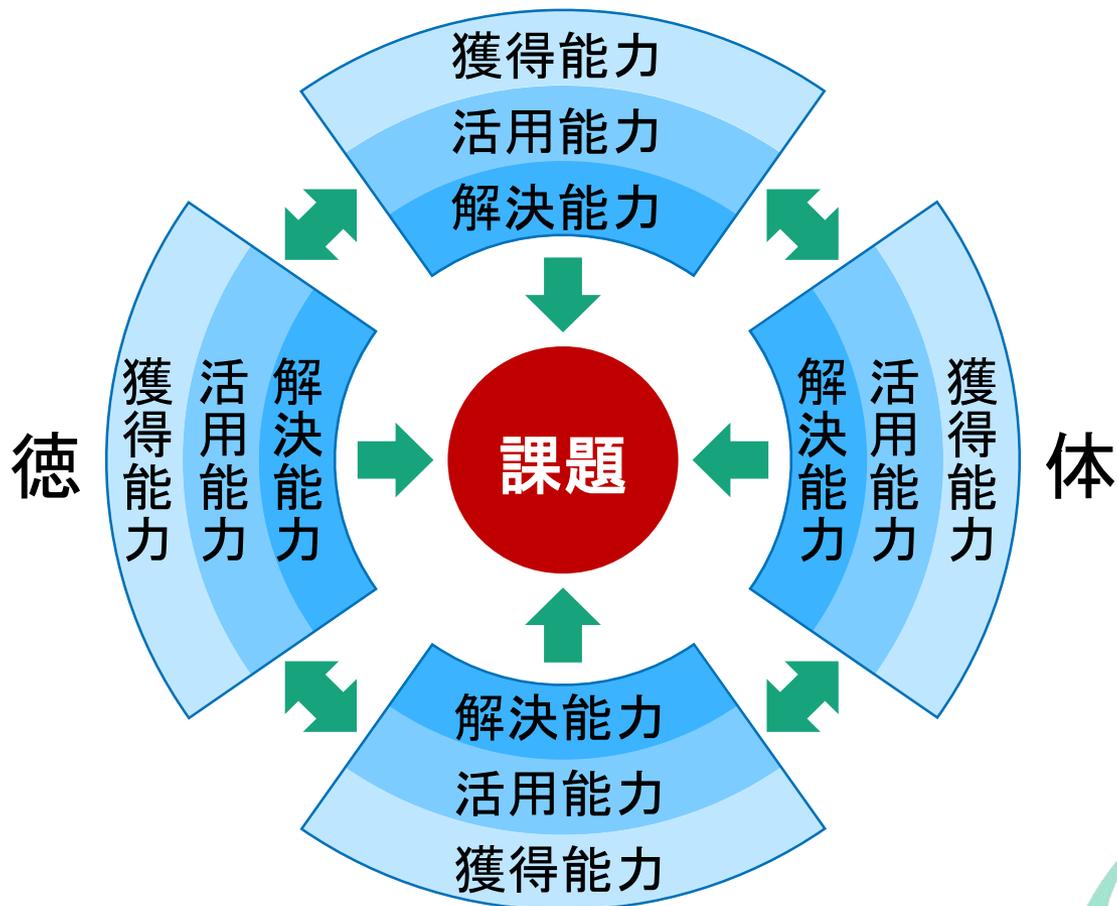
- 勉強
- 研究
- 実践





最後に ( )

知



行





---

ご清聴

ありがとうございました。

